



中期経営計画5カ年の折り返しを迎え、 「5つの変革」の実効性を高めていきます。

ステークホルダーの皆さまには平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

イオングループ中期経営計画（2021～2025年度）は3年目を迎えました。この間、当社を取り巻く経営環境は、国内の社会経済活動に回復の兆しが見え始めている一方で、不安定な国際情勢や世界的なエネルギー・原材料価格の高騰など、依然として不透明な状況が続いています。イオンは、厳しさを増す環境変化を成長の機会と捉え、中期経営計画で掲げた「5つの変革（①デジタルシフトの加速と進化、②サプライチェーン発想での独自価値の創造、③新たな時代に対応したヘルス&ウェルネスの進化、④イオン生活圏の創造、⑤アジアシフトのさらなる加速）」及び「環境・グリーン（GX）」の各領域において、より一層実効性を高めてまいります。

イオンは、「お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する」という基本理念のもと、絶えず革新し続けてまいりました。不確実性の高まる時代だからこそ、長年にわたり大切にしてきた基本理念に基づく経営が、より重要になると考えております。こうしたイオンの姿勢を、ステークホルダーの皆さまにより分かりやすくご理解いただくために、「絶えず革新し続ける企業集団」としての行動姿勢や想いを追加し基本理念を表す文章を改定いたしました。イオンは、基本理念に基づく経営の実践をゆるぎないものとし、これからも地域の皆さまの持続可能で豊かな暮らしに貢献してまいります。



イオンの創業の精神を伝える「イオン歴史館」にて

イオン株式会社
取締役 代表執行役社長

吉田昭夫

お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する。

**イオンは、小売業が平和産業であり、人間産業であり、地域産業であると信じ、
その使命を果たす企業集団として永続するために、
お客さまを原点に絶えず革新し続けてゆきます。**

平和は、戦争や災害からの復興にしても、平穏な生活の維持・増進にしても、能動的で意識的な関与なしにはもたらされません。こうした思いの原点には、岡田卓也名誉会長相談役の実体験があります。戦後、チラシを手にして店頭に並べられたお客さまが「戦争が本当に終わったんだな」と涙された姿を見て、小売業の存在こそが平和の象徴であると実感したと言います。そこから、小売業が成り立つためには平和が大前提であり、小売業は平和の維持に貢献していかなければならないと決意したのです。

平和とは、戦争や暴力がないというだけに止まりません。心の安寧に加えて、戦争や災害さらにはさまざまな不幸から立ち上がり、乗り越える力をも含むものです。21世紀になっても戦争は止まず、大震災や異常気象などの自然災害が頻発しています。今こそ平和の価値があらためて問い直されています。平和はそのまま与えられるものではありません。平和は、わたしたちが能動的で意識的に関与することによってはじめて保たれるのです。

イオンは平和に反することは決して行いません。また、そうした行為や活動には与しません。イオンが目指すのは積極的な平和への貢献です。

人間に関しては、一人ひとり信じ、尊重することで、その人の能力や思いが花開き、さらに人とつながることによって、より幸福な状態が生じます。

岡田名誉会長は、小売業を「人間くさい産業」と呼びました。それは「人の道」を重んじること、すなわち人間を尊重することです。個性、尊厳、自律性の尊重は言うまでもありません。それに加えて、人間が持つ可能性を信じ、仕事や学びを通じて成長し、よりよく人間的になることを後押しすることでもあります。人間はひとりで成長することは困難です。「人とのつながり」のなかで、他者とともによりよく人間的になっていくのです。それは幸福の実現であるとともに、人の間にある規範を求めるものでもあります。小売業は人々の幸福と規範の産業なのです。

地域もまた、地域ごとの多様性と自立性に敬意を払い、その特有のニーズに応え、手入れをし続けることによってはじめて豊かなコミュニティが実現します。

小売業はもともと地域に根ざした産業であり、地域とともに繁栄するものです。地域やそこにおけるコミュニティの豊かさを守っていくためには、不断に手入れを怠らないことが必要です。それは、小売業の重要な

使命のひとつなのです。これからはますます、地域やコミュニティの重要性が増していきます。イオンは、地域に特有の産品を発展させ、地域の人々の豊かな暮らしを促進し、地域やコミュニティの繁栄に能動的に貢献してゆきます。

イオンが目指しているのは、こうした平和への積極的な関与・人間の幸福と規範の下支え・地域の繁栄への貢献です。それが「お客さまを原点に」、すなわちお客さまを第一にするということの重要な基盤なのです。

お客さまを第一にするということは、自分第一ではない、つまり自分たちの都合で考え、動くのではないということです。その反対に、常にお客さまを第一に考え、誠実に行動すること、これがイオンの基本です。これを自分を映す鏡とし、すべてのイオンビールのあらゆる判断と行動の基準とします。ややもすれば自社や自分にとって有利なこと、都合が良いことに流されがちになりますが、そうした傾向を断固否定し、乗り越えてゆくことが求められています。

そのためには、イオンは革新し続ける企業集団でなければなりません。

企業にとって、成長し存続し続けることは最重要の課題です。しかし、革新し続けることなくしては、企業は衰退し滅亡してしまいます。たとえ現状が続くことが安定的で楽なことであっても、それに安住せず、常に自らを変えていかなければなりません。そして、革新し続けるためには、お客さまの変化やさまざまな社会の変化について、常に先を見る先見性や洞察力が必要です。イオンビールの一人ひとは、お客さまの生活や社会が求めるものの進化と変化を先取りしてゆく所存です。

家業から企業へ、そして産業へとイオンは変貌してきました。もともとダイナミックな企業文化を備えているのです。何よりも恐れているのは、ますます激しくなっていく変化の中で、求められる革新や企業家精神を失い、大企業に特有の停滞に陥っていくことです。変化することのない、現状のままだが続くような静的な均衡は続きません。より新しい革新に取って代わられないためには、イオンが最大かつ最先端の革新者であり続けるしかありません。それは創業の精神を保持することで常に刷新し続け、時代を先取りした組織であるという覚悟なのです。

イオンは、以上のことの浸透と実践を通じて、平和、人間、地域の維持と発展に貢献しうると信じて、行動してゆきます。



不確実な時代に先んじて、ともに未来を切り拓くイオングループへ

変えないことは、お客さまを原点に、くらしを事業領域として、お客さまの豊かさや喜びを生み出すこと。
 変えることは、一人ひとりの心のかつてないほど捉え、未来のくらしを創造していくこと。
 誰もが心豊かにくらす、笑顔あふれる未来のために、イオンは「大切にする姿勢と誓い」を共有し、
 くらしの共創をリードしていきます。



ビジョンステートメント

一人ひとりの笑顔が咲く 未来のくらしを創造する

イオングループが実現したい未来

**お客さまが
「明るくなっていく社会」と
「自分らしい幸せ」を実感できることで
「心豊かにくらし、笑顔が広がる」未来**

変化の速度が速まり、多様な事象が絡み合うことで、予測の難しい未来になっていきます。驚きの出会いや嬉しい発見がある一方、複雑で深刻な課題が増えているかもしれません。技術の進歩により人の可能性は広がります。お客さまは、自分らしさ、共感、信頼など心の内側から得られる豊かさをより求めるようになるでしょう。私たちは、お客さま基点で「実現したい未来」を想い描いています。

イオングループのありたい姿

**くらしの共創をリードし
一人ひとりも社会全体も
より豊かにするグループ**

私たちは、お客さまやビジョンに共感する仲間とともに、笑顔が広がる未来のくらしを創造するグループでありたい。自らの革新と共創のリードにより、一人ひとりも社会も豊かにし、成長するグループでありたい。商品・サービスを進化させ、さらに「つながり」をキーワードとする役割を果たすことで、いままでにない価値を提供していきます。

一人と社会をつなぐ

一人と深くつながる

「つながり」

つながりを広げる

一人と一人をつなぐ

お客さまが「明るくなっていく社会」を実感できる未来

くらしの中で新たな便利さ、快適さ、心躍る体験が増える。社会の発展がもたらす環境問題や格差など、負の側面に対する不安が解消されていく。それらを通じて、明るくなっていく社会を実感できる未来を実現したい。

お客さまが「自分らしい幸せ」を実感できる未来

自らの可能性を知り、自分を伸ばすことができる。個性を発揮し、魅力を表現することができる。自分らしくいられる場所があり、共感、信頼し合える人がある。それらを通じて、一人ひとりが自分らしい幸せを実感できる未来を実現したい。

お客さまが「心豊かにくらし、笑顔が広がる」未来

時に相反することもある、社会の発展と一人ひとりの幸せ。その両立により、お客さまが心豊かにくらし、笑顔でいる。そのような笑顔がどこまでも広がる未来を実現したい。

大切にする姿勢と誓い

絶えず革新し続ける企業集団としてビジョンを実現するために。私たちは、3つの姿勢と1つの誓いを共有し、笑顔が咲く未来のくらしを創造していきます。

3つの姿勢

「想いをもとに、自発的に行動する」

お客さま基点にそれぞれが想いを持ち、発信し、行動します。自発的な行動で生み出す対話と協働のうねりを、革新の力にしていきます。

「学び続け、新たな価値を創造する」

学び続けることで、行動の可能性を広げます。実践から知恵を拓き、自らの専門性を磨くことで、新たな価値を創造していきます。

「つながりを築き、育み、共創する」

企業、グループ、組織の壁を越え、多様なつながりを築き、育みます。つながりによって、互いの学びと価値創造のサイクルを加速させ、未来のくらしを共創していきます。

1つの誓い

「真摯、誠実であり続ける」

真摯さ、誠実さがあるからこそ、行動が信用され、想いに共感が生まれます。お客さまや仲間からの共感が、共創の起点となります。私たちは、これからも真摯、誠実であり続けることを誓います。



イオングループ未来ビジョンに関して詳しくはこちら https://www.aeon.info/company/code_of_conduct/

地域とともに成長する

毎日のくらしに寄り添う イオンの事業

イオンは、お客さまのニーズに応え、くらしの変化を先取りすることで多様な事業へと発展・成長させてきました。小売事業を起点とし、ショッピングモールの開発と運営を担うディベロッパー事業、クレジットカードや銀行、保険などの総合金融事業、さらにはサービス・専門店事業などを展開しています。



GMS(総合スーパー)事業



専門性の高い品揃えとサービスで、お客さまの衣食住をサポートする総合スーパーを展開しています。

SM(スーパーマーケット)事業



地域に密着したスーパーマーケット、小型店、コンビニエンスストアを展開。食品を中心に、毎日のくらしに欠かせない商品の品揃えとサービスの充実を図っています。

ヘルス&ウェルネス事業



地域の皆さまの健康をサポートするドラッグストア・調剤薬局を展開。医薬品や健康食品、日用品など、品揃えの充実に加え、在宅調剤などのサービス拡充に取り組んでいます。

DS(ディスカウントストア)事業



家計を応援し続けるために、商品仕入れの集約、物流の統合など、ローコスト施策を実施し、徹底的に低価格を追求する経営の実現に取り組んでいます。

総合金融事業



クレジットカード、銀行、保険を連携させた小売業発の総合金融サービスを提供。アジア各国においても展開しています。

国際事業



中国・アセアン各国において、国や地域ごとに異なるニーズやライフスタイルに合わせた商品・サービスを提供しています。

サービス・専門店事業



毎日の生活を一層便利で快適にするサービスの提供と、お客さまの幅広いニーズに応える多彩なジャンルの専門店を展開しています。

ディベロッパー事業



日本及び中国・アセアン各国で地域と共生するショッピングモールを開発・運営。グループ各事業と連携しながら、サービスの提供や施設の充実を図っています。

機能会社・その他



イオンのブランド「トップバリュ」での商品開発や品質管理、物流、システム、ITといったインフラ構築を担っています。

2030年のありたい姿の実現に向けた イオンの「5つの変革」

2023年度は、グループの中期経営計画(2021~2025年度)の折り返し地点となる重要な1年と考えています。イオンは、激変する環境変化を事業機会と捉え、成長戦略として掲げた「5つの変革」の実効性を高めることで既存の事業モデルの革新を図り、2030年を見据えた新たな成長基盤の確立を目指します。

2030年のありたい姿
イオンの地域での成長が地域の豊かさに結び付き、
循環型かつ持続可能な経営



1 デジタルシフトの加速と進化 リアルとデジタルを融合し、イオンならではの快適なお買物体験を提供



イオンの
トータルアプリ **iAEON**
「決済」「ポイント」「店舗情報」など、グループ共通の
デジタルサービスを提供するアプリ

リアルとデジタルがシームレスに融合したOMO^{*}の実現を目指し、「デジタル事業の加速」「店舗のデジタル化」「データ利活用による新たな価値創造」という3つの柱で取り組みを進めています。*Online Merges with Offline

オンラインマーケット「Green Beans」が始動

イオンネクストは2023年夏、“オンラインマーケット”としての新ブランド「Green Beans」を立ち上げ、サービスを開始する予定です。AIとロボットを駆使した最先端のCFC(顧客フルフィルメントセンター)からの自社物流による宅配・配送サービス、約5万品目の品揃え、高い鮮度管理を実現し、これまでにない画期的なお買物体験を提供します。



配送拠点の「イオンネクスト 豊田CFC」(千葉市緑区)



2 サプライチェーン発想での独自価値の創造 進化するイオンのプライベートブランド

イオンのブランド「トップバリュ」は、お客さまの価値観や嗜好の多様化を捉え、お客さまの声を形にするべく商品づくりに取り組んでいます。お客さまに各ブランドのコンセプトをよりわかりやすく提示するため、リブランディングを行い、ブランドコミュニケーションを進めています。



「もっと安心、もっとやさしく」

自然と体にやさしく、
持続可能な未来につながる
商品づくりを目指すブランド



「さあ、ワクワクするほうへ!」

毎日の暮らしに新しいアイデアと
ワクワクをお届けする
新価値創造ブランド



「今日も明日も、ほしいもの」

「これが私の定番」と
自信を持って選んでいただけ
商品をお届けするブランド



トップバリュ グリーンアイ30周年



1993年、化学合成農薬や化学肥料をできるだけ使わず栽培した農産物中心の商品でスタート。次の30年に向け、産地や生産者と手を携えて進化を続けます。

3 新たな時代に対応したヘルス&ウェルネスの進化 心とからだ、つながりに視点をおいた健康な暮らしを提案



イオンでは、お客さまの「身体的な健康」だけでなく、「精神的な充実」や「地域社会とのつながり」といった3つの側面が総合的に充足された状態、それを実現する取り組みをヘルス&ウェルネスと位置付けています。一部の事業、商品・サービスにとどまらず、グループ全社がヘルス&ウェルネスを軸に事業を再定義、再設計、再編集し、グループ全体の変革につなげていきます。

フード&ドラッグを展開するイオンウエルシア九州の1号店
「ウエルシアプラス大野城若草店」(福岡県)

4 イオン生活圏の創造 地域固有のニーズを満たす、なくてはならない存在に



グループ各社が連携することにより、地域に根差した「イオン生活圏」の構築を目指しています。各地域で異なるお客さまのニーズを基点に、グループの商品・サービスを組み合わせて、オンライン・オフライン双方で提供しています。また、イオンの理念・ビジョンの具現化を通じて共感を生み出し、ステークホルダーとともに地域をより良くしていく「場」も提供していく取り組みです。

2023年4月オープン
「イオンモール豊川」(愛知県)

5 アジアシフトのさらなる加速 現地の新しいくらしを育み、マーケットを創造



中国・アセアンにおいて成長スピードを加速しています。現地の専門人材とともに、独自価値のある店舗開発や、アセアン発のプライベートブランド商品の開発、さらにはリアルとデジタルの双方を強化し融合を図るなど、事業基盤・体制の拡充を進めています。イオンはこれからも、国や地域ごとに異なる課題を見極め、現地のくらしを支える企業となることを目指します。

2023年4月オープン
カンボジア初のモール内公園(コムサンパーク)を設置した
「イオンモール ミエンチェイ」(カンボジア)

お客さまとともに毎日のくらしを未来へつなげる イオンのサステナビリティ

イオンは、「持続可能な社会の実現」と「グループの成長」の両立を目指すサステナブル経営を推進しています。「環境」「地域」「健康・人」3つのテーマで、お客さまをはじめ、すべてのステークホルダー、とりわけお客さまとともに、豊かで持続可能な地域社会の実現に向けて取り組んでいます。

環境

Sustainable Planet

今もこれからも平和で心穏やかなくらし

毎日のくらしの中で、地球環境の回復や自然との共生につながるライフスタイルをご提案しています。

イオンの森づくり

植樹活動はイオンの基本理念を具現化する取り組みの一つです。新店舗がオープンする際に、お客さまと店舗の敷地内に地域の環境に合わせた木を植える「イオン ふるさとの森づくり」や、荒廃した森林の再生などを国内外で30年以上にわたり継続。成長した森は地域固有の生態系を育て、地域の生物多様性に貢献しています。

植樹本数 累計 **12,554,305**本
(2023年2月末現在)



いきもの調査(イオンモール浜松市野のビオトープ)



イオン ふるさとの森づくり植樹祭(イオンモール豊川)

資源循環型のくらしへ

限りある資源を有効活用する循環型ライフスタイルの定着を目指しています。店舗・商品・サービスを通じて、使い捨てプラスチックや食品ロス削減の取り組みを推進しています。



「ボトル to ボトル プロジェクト」

店舗を拠点とする資源循環モデルの構築を進めています。お客さまが店舗にお持ちになったペットボトルを容器の原料とし、再商品化した飲料を販売しています。

脱炭素社会の実現を目指して

「店舗」「商品・物流」「お客さまとともに」の3つの視点から、省エネ・創エネの両面で、店舗で排出するCO₂などを総量でゼロにする取り組みを進めています。



「イオンモール まちの発電所」

地産地消の再生エネルギー創出の第一歩として、自己託送方式による「イオンモール まちの発電所」を稼働し、低圧太陽光発電所で発電した再生可能エネルギーをイオンモール約30施設で使用しています。

未来の食文化を守るために

グローバル基準に沿った持続可能な調達、環境や社会に配慮した商品の開発・提供により、お買物を通じたサステナブルなくらしを提案しています。



「持続可能な調達の推進」

適切な資源管理に基づく漁業や養殖の証であるMSC認証・ASC認証をはじめ、フェアトレード認証、FSC認証などを取得した商品を積極的に展開しています。

地域

Heartful Community

人と人との絆で結ばれ、支え合う喜びのあるくらし

地域の安全・安心なくらしの実現、次世代の育成など、共助の絆で結ばれたコミュニティづくりに寄与し、地域とともに成長していきます。

地域の未来を担う子どもたちのために

イオンは、すべての子どもたちが心身ともに健やかに成長できる未来をつくりたいと考えています。全国各地の店舗を拠点として、地域の子どもの成長を見守っています。



イオンモール鹿児島でのイベントの様子

「イオン こども食堂応援団」

子どもたちの食の確保が恒常的な課題となっていることを受け、認定NPO法人全国こども食堂支援センター・むすびえと協働で、こども食堂を支援しています。募金などの経済的支援のほか、地域と子どもたちを結ぶ拠点として、コミュニティづくりに取り組んでいます。

お買物を通して地域の絆づくり

お客さまとともに地域を応援するため、ご当地WAONや黄色いレシートなど、日々のお買物を通して地域を応援する仕組みをつくっています。

「イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン」

毎月11日に発行される黄色いレシートを応援したい団体のボックスに投函すると、レシート合計金額の1%相当の品物がボランティア団体に寄贈されます。



イオンモール日の出(東京都)



イオンスタイル北戸田(埼玉県)

「イオン ウクライナ子ども救援募金」

イオンはあらゆる戦争に反対する姿勢を明確にし、ウクライナの子どものために救援するため、募金を実施しました。

健康・人

Healthy & Empowered People

一人ひとりが元気で自分らしく輝けるくらし

お客さま、従業員をはじめ、イオンに関わるすべての人々が心身の健康を維持し、多様な文化や価値観を認め合い、誰もが自分らしくいられるための取り組みを進めています。



従業員の笑顔を地域の笑顔に

小売業は人間産業であるという基本理念のもと、お客さまをはじめイオンに関わるすべての人々を笑顔にしていきます。従業員の成長につながる教育、ダイバーシティ、健康経営に力を入れ地域の笑顔につなげていきます。



イオンの健康経営宣言

イオンは、従業員と家族の健康をサポートします。そして、従業員とともに地域社会の健康とハピネスを実現します。

誰もが便利で快適なくらしへ

近隣に店舗がなく、毎日のお買物に不自由されているお客さまのもとへ商品をお届けする移動販売を実施しています。イオンならではのリアルとデジタルを融合し、便利で快適なくらしの実現に向けてサービスを開発しています。



店舗の薬剤師や管理栄養士とのオンライン健康相談も可能なウエルシア薬局の移動販売車

イオンのグローバルな事業展開

2023年2月末現在

事業展開する国

14カ国

連結営業収益

約9兆1,168億円

グループ従業員数

約57万人

イオンカード等会員数

(うち海外会員数1,742万人)

約4,824万人

※イオンフィナンシャルサービスの海外ハウスカード会員数を含む

電子マネー「WAON」累計発行枚数

約9,649万枚

モンゴル
中国
日本
ラオス
ミャンマー
インド
フィリピン
ベトナム
タイ
カンボジア
マレーシア
シンガポール
インドネシア

オーストラリア

店舗数

17,817店舗/カ所

GMS(総合スーパー)	620店舗	ドラッグストア	3,176店舗
SM(スーパーマーケット)	2,309店舗	金融	596カ所
DS(ディスカウントストア)	605店舗	モール型SC(ショッピングセンター)	271カ所 ^{*1}
HC(ホームセンター)	119店舗	NSC(近隣型ショッピングセンター)	154カ所 ^{*2}
CVS(コンビニエンスストア)	2,039店舗	その他(小売)	1,431店舗
サービス	2,049カ所	タスマニア直営牧場	1カ所
専門店	4,447店舗		

連結子会社、持分法適用関連会社の店舗および拠点数

※1 名称が「イオンモール」のSCに加え、総賃貸面積20,000㎡以上のものを含む

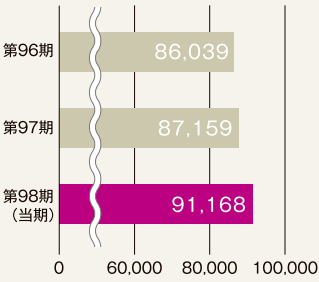
※2 名称が「イオンタウン」のNSC

連結業績

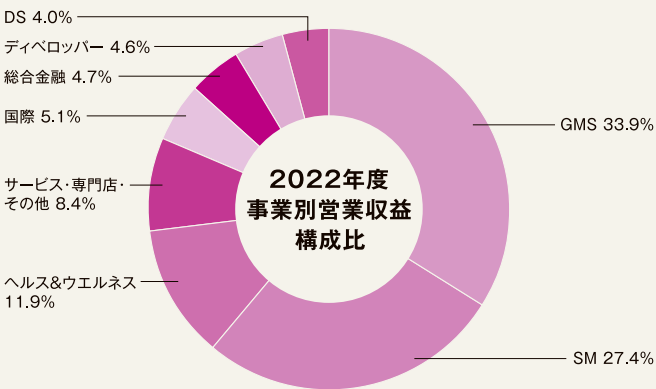
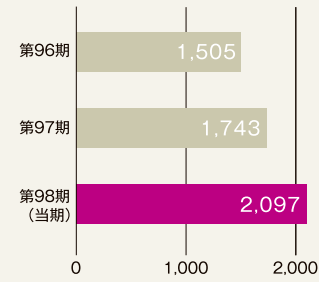
イオン株式会社

純粋持株会社 設立1926年(大正15年)9月 資本金2,200億700万円

連結営業収益(単位:億円)



連結営業利益(単位:億円)



2023年2月末現在

植樹合計本数

約1,255万本

地域に密着した取り組みとして1991年から「イオン ふるさとの森づくり」を開始。以来、イオンの基本理念を具現化する活動と位置付けています。

レジ袋削減枚数

約33.7億枚

約30年にわたり買物袋持参運動に取り組んでいます。2007年からレジ袋無料配布中止を呼びかけ、多くのお客さまにご支持いただいています。

従業員ボランティア参加延べ人数

約73万人

2012年以降、東北復興支援として従業員ボランティアを派遣。また、2022年から「イオン ハートフル・ボランティア」を開始し、全国各地で地域の皆さまとともに活動しています。

「イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン」累計贈呈金額

約49億円

地域のボランティア団体と、その団体を応援するお客さまを結ぶ活動として、2001年から開始。中国、カンボジア、タイでも実施しています。

ご当地WAON

累計寄付金額

約26.4億円

地域貢献の内容は、各地の環境保全、観光・スポーツ振興、動物愛護に関するものまで様々あり、165種類発行しています。

包括連携協定

134の自治体

日本各地の自治体(44道府県90市区)と協働し、地域の活性化や生活サービスの向上などにつなげる取り組みを行っています。

主なグループ企業

太字は株式公開会社 2023年2月末現在

純粋持株会社

イオン(株)

GMS(総合スーパー)事業

イオン九州(株)
イオン北海道(株)
(株)サンデー
イオンウエルシア九州(株)
イオンスーパーセンター(株)
イオン東北(株)
イオンバイク(株)
イオンリカー(株)
イオンリテール(株)
イオン琉球(株)
オリジン東秀(株)
トップバリュコレクション(株)
(株)ボンベルタ

SM(スーパーマーケット)事業

(株)フジ
マックスバリュ東海(株)
ミニストップ(株)
ユナイテッドスーパーマーケットホールディングス(株)
イオンサヴール(株)
イオンマーケット(株)
(株)カスミ
(株)光洋
(株)ダイエー
ピオセボン・ジャパン(株)
(株)フジ・リテイリング
まいばすけっと(株)
マックスバリュ関東(株)
マックスバリュ西日本(株)
マックスバリュ北陸(株)
(株)マルエツ

DS(ディスカウントストア)事業

イオンビッグ(株)
(株)ビッグ・エー
マックスバリュ南東北(株)

ヘルス&ウエルネス事業

ウエルシアホールディングス(株)
(株)イオンボティ
イオンレーヴコスメ(株)
ウエルシア薬局(株)
(株)クスリのマルエ
(株)コクミン
コスメーム(株)
シミズ薬品(株)
(株)ふく薬品
(株)フレンチ
(株)丸大サクラ井薬局
(株)よどや
(株)MASAYA

機能会社・その他

アビリティーズジャスコ(株)
イオンアイビス(株)
イオンアグリ創造(株)
イオングローバルSCM(株)
イオンスマートテクノロジー(株)
イオントップバリュ(株)
イオンネクスト(株)
イオンフードサプライ(株)
イオンベーカーリー(株)
イオンマーケティング(株)
コルドンヴェール(株)
(株)生活品質科学研究所
Aeon Digital Management Center
AEON TOPVALU (CHINA) CO., LTD.
AEON TOPVALU (HONG KONG) CO., LIMITED
AEON TOPVALU MALAYSIA SDN. BHD.
AEON TOPVALU (THAILAND) CO., LTD.
AEON TOPVALU VIETNAM COMPANY LIMITED
Tasmania Feedlot Pty. Ltd.

総合金融事業

イオンフィナンシャルサービス(株)
AEON CREDIT SERVICE (ASIA) CO., LTD.
AEON CREDIT SERVICE (M) BERHAD
AEON THANA SINSAP (THAILAND) PCL.
イオン・アリアンツ生命保険(株)
(株)イオン銀行
イオンクレジットサービス(株)
イオン住宅ローンサービス(株)
イオンプロダクトファイナンス(株)
イオン保険サービス(株)
イオン・リートマネジメント(株)
フェリカポケットマーケティング(株)
AEON Financial Service (Hong Kong) Co., Ltd.
AFSコーポレーション(株)

■(公財)イオンワンパーセントクラブ
■(公財)イオン環境財団
■(公財)岡田文化財団

会社概要

社名	イオン株式会社
本社所在地	〒261-8515 千葉県千葉市美浜区中瀬一丁目5番地1
創業	1758年(宝暦8年)
設立	1926年(大正15年)9月
代表者	取締役 代表執行役社長 吉田 昭夫
グループ従業員数	約57万人(2023年2月末現在)

コーポレートサイト

イオングループの最新ニュースや事業活動、サステナビリティなど、詳しくはこちらをご参照ください。
<https://www.aeon.info/>



イオンレポート(統合レポート)

イオングループの中長期の価値創造ストーリーと環境・社会貢献活動によるサステナブル経営について掲載しています。
<https://www.aeon.info/ir/library/aeon-report/>



公益財団法人

ワンパーセント

イオン1%クラブ

考える力、広い視野、思いやりの心を養い、
子どもたちの未来を育んでいきます。

1990年に設立。「お客さまからいただいた利益を社会のために役立てる」という想いのもと、イオングループが税引前利益の1%相当額を拠出し、「子どもたちの健全な育成」「諸外国との友好親善」「地域の発展への貢献」を柱とする事業活動を行っています。



子どもたちの
健全な育成



諸外国との
友好親善



地域の発展
への貢献



<https://aeon1p.or.jp/1p/>

公益財団法人

イオン環境財団

ステークホルダーの皆さまとともに、
地球環境の課題に取り組んでいます。

地球環境をテーマにした日本初の企業単独の財団法人として1990年に岡田卓也(イオン創業者／現名誉会長相談役)により設立。以来、多様なステークホルダーの皆さまと連携し、植樹や助成事業、環境教育などの活動を継続しています。現在は、持続可能な地域の実現を目的に、新たな里山づくりにも取り組んでいます。



イオンの森づくり



助成



環境教育



パートナーシップ



<https://www.aeon.info/ef/>

表紙の苗木は、宮城県の子どもたちが採取したドングリから育生した「コナラ」の苗です。東北大学・(公財)イオン環境財団・イオンモールによる産学連携プロジェクトの一環として育て、生態系の保全に貢献することを目指しています。



印刷時に有害な廃液が出ない
「水なし印刷」で印刷しています。



VOC(揮発性有機化合物)成分ゼロの
地球にやさしいインキを使用しました。



印刷サービスのグリーン購入に取り組みしています PS21-0003

